



JAPAN HEALTHCARE VENTURE SUMMIT 2022

# SYMPOSIUM

一歩踏み出したい医療系ベンチャー・ アカデミアのための2-dayシンポジウム ネットワーキング ~エコシステムの波に乗るために~

現地特典: 参加

# プログラム集

2023.2.2 命~3金

Day1:トレンド Day 12:30~18:50 Day2:ラーニング Day 12:30~18:20

開催形式 ハイブリッド開催 (現地+オンライン)

会 場 虎ノ門ヒルズフォーラム 4F ホール B

主催:厚生労働省(医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 ベンチャー等支援戦略室)

# プログラム

# Day1: トレンドDay

# 2023年2月2日(木)

※開始時刻やプログラム内容等、当日変更となる可能性がございます。

#### 12:30-13:00 JHVS2022 Venture Award表彰式

• 伊佐 進一 (厚生労働省 厚生労働副大臣)

#### 受賞企業7社

#### ≪ JHVS2022 Venture Award ≫

- ・株式会社セルージョン
- · KAICO株式会社
- ・セレイドセラピューティクス株式会社
- Heartseed株式会社
- ・ソニア・セラピューティクス株式会社

#### ≪審査員特別賞≫

- · PRD Therapeutics株式会社
- 五稜化薬株式会社

※現地参加者のみ

#### 13:00-13:05 オープニングリマーク

• 伊佐 進一 (厚生労働省 厚生労働副大臣)

#### 13:05-14:05 キーノートパネル ~医療デジタルの未来予想図~

#### モデレータ

・藤井 倫雅 (株式会社三菱総合研究所 政策・経済センター 副センター長)

#### パネリスト

• 鈴木 康裕 (国際医療福祉大学 学長)

・ 武藤 真祐 (株式会社インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役会長)

• 服部 信孝 (順天堂大学 医学部長·医学研究科長)

## 14:10-15:05 官公庁事業紹介 ~産官による創薬ベンチャーエコシステム強化~

#### モデレータ

• 曽山 明彦 (一般社団法人 Life science Innovation Network Japan 常務理事/東北大学 特任教授)

#### パネリスト

・ 庄 剛矢 (経済産業省 商務・サービスグループ 生物化学産業課 課長補佐)

・山本 昇 (日本製薬工業協会 産業政策委員会 イノベーション推進部会(エーザイ株式会社)) ・米川 由也 (厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 ベンチャー等支援戦略室 主査)

#### 15:20-16:10 これからのMEDISO活用方法 ~5周年特別企画~

#### モデレータ

・ 本荘 修二 (本荘事務所 代表/多摩大学 客員教授/医療系ベンチャー振興推進会議 座長)

#### パネリスト

・飯村 康夫 (経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 企画官)

・ 山本 剛 (厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 ベンチャー等支援戦略室 室長)

• 河野 健一 (株式会社iMed Technologies 代表取締役CEO/医師)

・金子 素久 (株式会社iMed Technologies 取締役COO)

佐々木 康夫 (MEDISO常勤サポーター)田那辺 幸 (MEDISO常勤サポーター)

・橘 正敏 (BPM コンサルティングオフィス代表/MEDISO サポーター)

・ 八巻 心太郎 (株式会社三菱総合研究所 未来共創本部 兼 営業本部コーポレートベンチャー連携推進グループ)

・川上 明彦 (株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア&ウェルネス本部 MEDISOプロジェクトマネージャー)

#### 16:15-17:25 VCは何を考える? ~資金調達交渉時のVCの視点~

#### モデレータ

・師田 和子 (MEDISO常勤サポーター)

・橘 正敏 (BPM コンサルティングオフィス代表/MEDISO サポーター)

#### パネリスト

• 永田 一郎 (株式会社新日本科学 常務取締役/株式会社Gemseki 代表取締役社長)

• 長谷川 宏之 (三菱UFJキャピタル株式会社 上席執行役員 ライフサイエンス部長)

• 鈴木 利衣奈(Eight Roads Ventures Japan ヴァイスプレジデント)

・榊原 和洋 (ANRI株式会社 アソシエイト)

・水本 尚宏 (東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 パートナー(AOIファンドCIO))

#### 17:40-18:50 ネットワーキング

# Day2:ラーニングDay

# 2023年2月3日(金)

#### 11:00-12:15 ネットワーキング

※現地参加者のみ

#### 12:30-13:40 海外進出に挑むベンチャーのリアル(前半)

#### モデレータ・パネリスト

- ・松永 昌之 (BIOSPIRE株式会社 代表取締役/Oxentia シニアコンサルタント)
- ・ 鍵本 忠尚 (株式会社へリオス 代表執行役社長CEO)

#### 13:40-14:10 海外進出に挑むベンチャーのリアル(後半)

#### モデレータ

・松永 昌之 (BIOSPIRE株式会社 代表取締役/Oxentia シニアコンサルタント)

#### パネリスト

- ・ 鍵本 忠尚 (株式会社へリオス 代表執行役社長CEO)
- 越阪部 正徳 (ノーベルファーマ株式会社 研究開発本部 副本部長 海外開発部長)
- ・ 羽藤 晋 (株式会社セルージョン 代表取締役社長)
- ・佐藤 亨 (ソニア・セラピューティクス株式会社 代表取締役社長 兼 CEO)

#### 14:15-15:15 先人に学ぶ ~医療機器プログラムと法規制~

#### モデレータ

• 曽山 明彦 (一般社団法人 Life science Innovation Network Japan 常務理事/東北大学 特任教授)

#### パネリスト

- ・西川 玄希 (厚生労働省 医薬・生活衛生局 医療機器審査管理課 プログラム医療機器審査管理室 主査)
- ・佐竹 晃太 (株式会社CureApp 最高経営責任者(CEO)/日本赤十字社医療センター 呼吸器内科医)
- ・根本 鮎子 (ゾンデルホフ&アインゼル法律特許事務所 パートナー)
- 小島 清顕 (Smith, Gambrell & Russell, LLP パートナー弁護士)
- 猪子 晶代 (Smith, Gambrell & Russell, LLP 弁護士)

#### 15:30-16:35 医師起業家に学ぶ ~起業の心得~

#### モデレータ

- ・ 奥田 浩美 (株式会社ウィズグループ 代表取締役/一般社団法人 ヘルス・アンド・ウェルビーイング・アライアンス 代表理事)
- ・橘 正敏 (BPM コンサルティングオフィス代表/MEDISO サポーター)

#### パネリスト

- ・佐藤 洋一 (iSurgery株式会社 代表取締役/CEO)
- ・川田 裕美 (株式会社ヘッジホッグ・メドテック CEO)
- 髙橋 秀徳 (DeepEyeVision株式会社 代表取締役CEO)
- ・井汲 一尋 (株式会社MEDICOLAB 代表取締役)

### 16:40-17:25 JHVS2022 Venture Award 受賞者ピッチ

- ・ 羽藤 晋 (株式会社セルージョン 代表取締役社長)
- ・谷口 雅浩 (KAICO株式会社 研究開発・生産 ゼネラルマネージャー)
- ・内山 朝子 (セレイドセラピューティクス株式会社 Chief Development Officer(CDO)/製品開発部部長)
- ・野口 太朗 (Heartseed株式会社 経営企画室/事業開発担当)
- ・佐藤 亨 (ソニア・セラピューティクス株式会社 代表取締役社長 兼 CEO)
- 細田 莞爾 (PRD Therapeutics株式会社 代表取締役社長)
- 丸山 健一 (五稜化薬株式会社 代表取締役)

#### 17:30-17:40 クロージング

- ・ 本荘 修二 (本荘事務所 代表/多摩大学 客員教授/医療系ベンチャー振興推進会議 座長)
- ・ 奥田 浩美 (株式会社ウィズグループ 代表取締役/一般社団法人 ヘルス・アンド・ウェルビーイング・アライアンス 代表理事)
- 曽山 明彦 (一般社団法人 Life science Innovation Network Japan 常務理事/東北大学 特任教授)
- ・厚生労働省

#### 17:50-18:20 ネットワーキング

※現地参加者のみ

# 登壇者紹介

#### JHVS2022 Venture Award 表彰式

※会場でのみ実施しオンラインでの実施はございません。

### 伊佐 進一

#### 厚生労働省 厚生労働副大臣



東京大学工学部卒業後に科学技術庁入庁。その後、米国ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院修了を経て、文部科学省では在中国大使館一等書記官、副大臣秘書官を歴任。平成24年に衆議院大阪府選挙区より初当選し国政に進出。平成26年及び平成29年の衆議院選挙でも再選し、平成30年に財務大臣政務官に、更に令和3年の衆議院議員当選を経て、令和4年に厚生労働副大臣兼内閣府副大臣就任。医療、子育て支援を担当するほか、新型コロナウイルス感染症対策に対応。

#### ≪ JHVS2022 Venture Award ≫

医薬品、医療機器、再生医療等製品に結びつくことが期待されるシーズを有するベンチャーやアカデミア等のうち、実用化の可能性、シーズのポテンシャル、プレゼン技術等を総合的に判断し、将来性があると考えられる者を表彰します。

#### 株式会社セルージョン



CELLUSION

セルージョンは、iPS細胞を利用した革新的な再生医療技術を創造し、世界にもっと「できる」を増やす、を目指しています。これまでの水疱性角膜症の治療には、高度な技術を持つ専門医、角膜ドナー、アイバンクという社会インフラなどが供給制約となっていました。セルージョンは角膜内皮代替細胞をiPS 細胞から大量培養し、この細胞の移植による低侵襲手術の開発により、これらの課題の解消を目指します。

#### KAICO 株式会社



KAICOは2018年創業の九州大学発バイオベンチャーです。九州大学農学研究院の日下部教授らが研究を重ねてきた、カイコを利用した組換えタンパク質発現の技術を導入しています。KAICOは「カイコで世界を変えていく」をスローガンに、現時点で承認例のないノロウイルス感染症に対する経口ワクチン等、市場に存在せず且つ他社では商品化困難なワクチン・体外診断薬・試薬などの開発を通じて世界を変えていくことを目指しています。

#### セレイドセラピューティクス株式会社



セレイドセラピューティクス株式会社は造血幹細胞の体外増幅技術をコア技術とし、現在の造血幹細胞移植の代替となるべき細胞治療製品の開発をしています。弊社の技術は臍帯血、末梢血、骨髄といったソースに関わらず、造血幹細胞を生物由来物質を含まない培地で増幅することができます。この技術を用いて、血液がんを含む血液疾患患者を救うことのできる製品開発を目指しています。

#### Heartseed 株式会社



HeartseedはiPS細胞治療の可能性を解き放つために、高純度の心室型心筋細胞を作製する技術、移植技術やiPS細胞の作製方法など、多数の独自技術を有しています。心筋再生医療の早期事業化に向け、重症心不全患者を対象とした企業治験を進めている他、様々な分化細胞にも適応可能な未分化iPS細胞の除去方法など、心筋領域以外でも有用な技術を複数保有しており、「再生医療で世界を変えること」を目指しています。

#### ソニア・セラピューティクス株式会社



当社は難治がんを対象に次世代型超音波ガイド下HIFU (high-intensity focused ultrasound)治療装置を開発している。HIFU 治療は体外から照射した超音波エネルギーを集束させ、熱的作用によってがん細胞を加熱・壊死させる方法で、低侵襲で放射線被曝が無いことから、がんに対する新たな治療法として期待されている。そして、最初のターゲットがん種を膵がんとし、現在、東京医科大学、東北大学、横浜市立大学附属市民総合医療センターの3施設で治験を行っている。

#### ≪審査員特別賞≫

審査員が選出した、特に高い実用化の可能性、シーズのポテンシャルがあると期待する者を表彰します。

#### PRD Therapeutics 株式会社



PRD Therapeuticsは、経口投与可能なFirst-in-Classの新規コレステロール低下薬の開発を行う北里大学薬学部発の創薬ベンチャーです。既存のコレステロール低下薬が効きにくい家族性高コレステロール血症ホモ接合体などの希少疾患や、有効な治療薬がないNASH/NAFLDといったアンメットメディカルニーズの高い脂質代謝性疾患に対する治療薬を開発しています。

#### 五稜化薬株式会社



当社は、がんを見える化する薬を開発するスタートアップです。この薬は外科手術において、がんを蛍光で見える化し、術者の外科 医を光でがん患部へ導くことで、取り残しリスクを最小化することできる画期的な薬です。我々はこの薬を術者を導く薬として位置 付け"ナビゲーションドラッグ"と名付け、今後、多様ながん外科手術への応用のみならず他疾患への展開も見据えた臨床開発を積極的に取り組んで参ります。

# オープニングリマーク

**伊佐 進一** 厚生労働省 厚生労働副大臣



東京大学工学部卒業後に科学技術庁入庁。その後、米国ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院修了を経て、文部科学省では在中国大使館一等書記官、副大臣秘書官を歴任。平成24年に衆議院大阪府選挙区より初当選し国政に進出。平成26年及び平成29年の衆議院選挙でも再選し、平成30年に財務大臣政務官に、更に令和3年の衆議院議員当選を経て、令和4年に厚生労働副大臣兼内閣府副大臣就任。医療、子育て支援を担当するほか、新型コロナウイルス感染症対策に対応。

#### キーノートパネル ~医療デジタルの未来予想図~

Day1: 13:05-14:05

近年、医療デジタル技術は、我々の想定を超えるスピードで進化し、医療の可能性を広げてきました。本セッションでは、JHVSシンポジウムのキーノートパネルとして、国際医療福祉大学学長 鈴木康裕様、株式会社インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役会長 武藤真祐様、順天堂大学 医学部長・医学研究科長 服部信孝様を迎え、今後の医療デジタルの姿、その中で医療系ベンチャーに求められる役割について議論します。

#### 藤井 倫雅

株式会社三菱総合研究所 政策・経済センター 副センター長



東京工業大学大学院知能システム科学専攻修了後、三菱総合研究所に入社。R&D戦略や技術者育成、産学連携等の分野における調査・コンサルティングに従事。その後、医療機器分野での新規事業開発や研究開発戦略の支援に従事。現在は政策・経済センターにて医療介護分野におけるデジタル化が社会経済に与えるインパクトの分析や社会保障制度改革の提言を手がけている。

#### 鈴木 康裕

国際医療福祉大学 学長



昭和59年慶應義塾大学医学部卒。同年厚生省入省。平成10年世界保健機関派遣(ADG(事務局長補:局長級)として4年間勤務)、17年厚生労働省研究開発振興課長、18年同老人保健課長、21年同新型インフルエンザ対策推進本部事務局次長、22年同医療課長、24年防衛省衛生監、26年厚生労働省技術総括審議官、28年6月同保険局長、29年7月同医務技監、令和2年8月退職。3年3月より国際医療福祉大学副学長。4年4月より現職。

#### 武藤 真祐

株式会社インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役会長



東大病院にて循環器内科に従事後、宮内庁で侍医を務める。その後マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て、2010年に医療法人社団鉄祐会を 設立。2016年に株式会社インテグリティ・ヘルスケア代表取締役会長に就任。

東京大学医学部(MD)、東京大学大学院医学系研究科(Ph.D.)

早稲田大学大学院ファイナンス研究科(MBA)、INSEAD (Executive MBA)、Johns Hopkins (MPH, MSc)。

#### 服部 信孝

順天堂大学 医学部長•医学研究科長



1985年 3月 順天堂大学医学部卒業

2006年7月 順天堂大学医学部神経学講座教授、老研センター副センター長(併任)

2019年4月 順天堂大学大学院医学研究科長・医学部長(併任)

2020年10月 理化学研究所脳神経科学研究センター神経変性疾患連携研究チーム・チームリーダー(兼務)

政府は、「経済財政運営と改革の基本方針2022」にて、創薬力の強化により、科学技術力の向上とイノベーションを実現することを明記するなど、近年 創薬ベンチャー支援に力を入れています。本セッションでは、創薬ベンチャーを支援する官公庁の取り組みや、産業界から日本製薬工業協会の取り組み を紹介するとともに、今後の産官連携による創薬ベンチャーエコシステム強化について議論します。

#### 曽山 明彦

一般社団法人 Life science Innovation Network Japan 常務理事 / 東北大学 特任教授



東京大学理学部物理学科卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。人事院長期在外研究員として米国コロンビア大学ビジネススクールに留学 (MBA)。(株)ボストンコンサルティンググループのプロジェクトマネージャー、トランス・コスモス(株)の専務取締役を経て、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)ヴァイスプレジデント、欧米系医療機器企業2社の日本法人社長を経験。2016年4月LINK-J事務局長に就任。東北大学特任教授 (2020年~)

#### 庄 剛矢

経済産業省 商務・サービスグループ 生物化学産業課 課長補佐



2017年経済産業省に入省し、核燃料サイクル政策、原子力発電所再稼働などの原子力政策や、トランプ政権下での日米貿易協定の交渉・発効、バイデン政権との日米技術協力などを担当した。2021年より、商務・サービスグループ生物化学産業課(バイオ課)にて、創薬スタートアップの育成やQUAD(日米豪印)での技術協力といったバイオ産業政策の担当を務める。

#### 山本 昇 日本製薬工業協会 産業政策委員会 イノベーション推進部会(エーザイ株式会社)



エーザイ株式会社入社所属。筑波研究所において脳神経領域のメディシナルケミストリーおよびバイオマーカー研究に従事。その間、米国スクリプス研究所留学、エーザイロンドン研究所およびケンブリッジ研究所に赴任。2021年にGR戦略部に配属後、日本製薬工業協会のイノベーション政策推進WTにおいて、ヘルスケアイノベーション創出エコシステムに関する検討ワーキンググループのリーダーを務める。

#### 米川 由也

厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 ベンチャー等支援戦略室 主査



新卒入社したパソナグループにてHR事業に従事。その後アマゾンジャパンに転職しEC戦略コンサルタントとして国内外メーカーの販促支援、マーケティング、サプライチェーン、商品企画等に携わる。SMB向けコンサルティングチームの立ち上げを経験後、2021年にNECに転職し厚生労働省によるCovid-19ワクチン接種に関するプロジェクトチームに参画。2022年4月に官民交流制度で厚生労働省へ出向し、現在はベンチャー等支援戦略室にて業務に従事。

Day1: 15:20-16:10

2018年に医療系ベンチャー支援窓口として開設されたMEDISOは今年で5周年を迎え、支援企業数も延べ1,000社を超えました。本セッションでは、MEDISO開設5周年を記念し、MEDISO設立時の課題感やMEDISOでの具体的な支援事例を交えながら、今後MEDISOが目指すべき医療系ベンチャー支援の在り方について議論します。

#### 本荘 修二

本荘事務所 代表 / 多摩大学 客員教授 / 医療系ベンチャー振興推進会議 座長



新事業を中心に、日米アジアの大企業・ベンチャー・投資家等のアドバイザーを務める。500 Global、Endeavor、始動 Next Innovator 他のメンターとして起業家育成、コミュニティづくりに取り組む。多摩大学MBA客員教授。BCG東京、米Computer Sciences Corporation、CSKセガグループ会長付、投資育成会社GeneralAtlantic日本代表などを経て、現在に至る。ペンシルベニア大学経営学修士、早稲田大学博士学術:国際経営

#### 飯村 康夫

経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 企画官



平成10年4月に厚生省(当時)に入省後、医薬品・医療機器の安全対策や医療分野の研究開発の振興などに携わり、平成29年4月のベンチャー等支援戦略室の設置とともに室長に就任。平成31年4月に国立医薬品食品衛生研究所企画調整主幹、令和2年11月より経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課企画官となり、現在に至る。

#### 山本 剛

厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 ベンチャー等支援戦略室 室長



平成17年厚生労働省入省後、医薬食品局安全対策課課長補佐、同局審査管理課審査調整官、(独)医薬品医療機器総合機構経営企画部広報課長・医療情報活用部調査役、医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課課長補佐等を歴任。令和4年6月より現職。

#### 河野 健一

株式会社iMed Technologies 代表取締役CEO/医師



脳神経外科医師として医療現場で16年間勤務。現場で脳血管内手術の課題を感じ、「世界に安全な手術を届ける」という理念を掲げ、iMed Technologiesを設立し起業。現在、くも膜下出血や脳梗塞に対する脳血管内治療の手術支援AIを開発中。 東京大学理学部数学科、京都大学医学部、グロービスMBA

https://imed-tech.co.jp/

#### 金子 素久

株式会社iMed Technologies 取締役COO



脳血管内手術の支援ソフトウェア「Neuro-Vascular Assist®」を開発する株式会社iMed Technologiesの取締役COOとして、事業戦略や資金調達等の経営全般を担当。創業以前は、経営共創基盤(IGPI)で戦略コンサルティングやM&Aアドバイザリー、新生銀行でプライベート・エクイティ投資等に従事。現在、三桜工業株式会社(自動車部品メーカー)の社外取締役も務める。早稲田大学政治経済学部卒。

#### 佐々木 康夫

MEDISO常勤サポーター



製薬企業において医薬品の研究開発に約30年間従事。主に前臨床試験および薬事業務等を担当した。2013年より公益財団法人静岡県産業振興財団ファルマバレーセンターにおいて、静岡県東部を中心にアカデミアや創薬ベンチャー企業および中小企業等の研究開発支援に従事した。 2018年からはフリーランスで、ライフサイエンス分野のアドバイザーやコーディネーターとして支援業務を行っている。

#### 田那辺 幸

#### MEDISO常勤サポーター



岐阜薬科大学修士 薬剤師。医療機器、体外診断用医薬品に関する薬事規制、QMS、品質保証等を専門とする。旭化成ファーマ株式会社にて、 医療機器、体外診断薬の研究開発、臨床開発、薬事、品質保証に従事。定年退職後に(独)医薬品医療機器総合機構のイノベーション実用化支援・戦略相談課にてテクニカルエキスパートとして相談業務に従事。2018年よりMEDISOサポーターとしてアカデミア、ベンチャー支援に携わる。

#### 橘 正敏

BPM コンサルティングオフィス代表 / MEDISO サポーター



精密機器企業の医療機器部門にて、25年以上、マーケティング(国内、海外の市場調査、販路開拓)、商品企画、法規制対応、品質システム構築など、製品ライフサイクルにわたる一連の業務に従事、社内、社外を含めた数多くのプロジェクトを管轄した経験を持つ。医療系ベンチャー・トータルサポート事業のサポーターとして、プログラム医療機器等を開発するデジタル系スタートアップへの助言・支援経験を豊富に持つ。

#### 八巻 心太郎

株式会社三菱総合研究所 未来共創本部 兼 営業本部コーポレートベンチャー連携推進グループ



株式会社三菱総合研究所 未来共創本部 兼 営業本部コーポレートベンチャー連携推進グループ。昨年度まで医療系ベンチャー・トータルサポート事業 (MEDISO) のプロジェクトマネージャーとして、医療系ベンチャー企業・アカデミアにおける薬機法対象製品・サービスの開発・実用化を支援後、2022年4月より現職。ヘルスケア領域にとどまらず、多様な社会課題に対する解決策の社会実装を目指し、ベンチャー連携・共創活動に従事。

#### 川上 明彦

株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア&ウェルネス本部 MEDISOプロジェクトマネージャー



2008年京都大学工学部工業化学科を卒業後、ノボノルディスクファーマ株式会社に入社。2017年12月に退職し、2018年1月に現職である株式会社三菱総合研究所に入社。現職では、MEDISOをはじめとした医療系ベンチャー企業支援事業、医薬品等研究開発支援事業、医薬品等開発動向調査事業等の官公庁委託事業に従事している。また、2020年4月より、社会人大学院生(博士後期課程)として希少疾患に関する医療レギュラトリーサイエンスを研究している。

資金調達は多くの起業家が直面する課題であり、VCがベンチャーをどのように評価しているか知ることすら容易ではありません。本セッションでは、医療分野への投資経験があるVCの方々を迎え、資金調達においてありがちな課題を取り上げ、医療系ベンチャーが資金調達を乗り越えるための勘所について議論します。

#### 師田 和子

MEDISO常勤サポーター



大学院修了後、日系コンサルティングファームに入社し、コンサルタントとして戦略の立案から実行につなげるための組織改革、業務改善などに 従事。その後、国や地方自治体が推進する医療機器開発支援事業のスキーム構築を支援。医療機器産業への新規参入企業、医療機器メーカー との対話・助言の経験を豊富に持つ。現在は、医療系ベンチャー・トータルサポート事業のサポーターとして、医療機器等を開発するスタートアップ企業への助言・支援を行っている。

#### 橘 正敏

BPM コンサルティングオフィス代表 / MEDISO サポーター



精密機器企業の医療機器部門にて、25年以上、マーケティング(国内、海外の市場調査、販路開拓)、商品企画、法規制対応、品質システム構築など、製品ライフサイクルにわたる一連の業務に従事、社内、社外を含めた数多くのプロジェクトを管轄した経験を持つ。医療系ベンチャー・トータルサポート事業のサポーターとして、プログラム医療機器等を開発するデジタル系スタートアップへの助言・支援経験を豊富に持つ。

永田 一郎

株式会社新日本科学 常務取締役 / 株式会社Gemseki 代表取締役社長



2008年Boston University卒、2015年順天堂大学医学部卒。医学博士(鹿児島大学)、経営学修士(京都大学)、Master of Management in Hospitality (Cornell University)。順天堂醫院にて臨床研修後、メディポリス国際陽子線治療センターにて放射線治療医として従事。現在、株式会社新日本科学 常務取締役、同子会社Gemseki社長を兼務し、ベンチャーから製薬企業へのシーズや技術仲介を行うとともにバイオベンチャーへの投資ファンドを運営している。

#### 長谷川 宏之

三菱UFJキャピタル株式会社 上席執行役員 ライフサイエンス部長



製薬会社を経て、現在の三菱UFJキャピタル株式会社に2004年入社。2013年よりオープンイノベーション・ファンド(OiDEファンド)によるアカデミア発研究成果をもとに製薬と共同で創薬基盤技術に育成する試みを展開。2017年より三菱UFJライフサイエンスファンド(1号~3号)の計300億円を活用した投資活動を推進。複数の投資先の社外取締役、京都大学医学研究科KUMBL産学連携フェロー、JST START代表事業プロモーター。

#### 鈴木 利衣奈

Eight Roads Ventures Japan ヴァイスプレジデント



2018年よりエイトローズベンチャーズにてベンチャー投資及び投資先企業の支援に従事。エイトローズ参画前は、内科医としての勤務後に、2010年よりボストンコンサルティングブループ東京及びシカゴオフィスにてヘルスケア領域を中心としたコンサルティング業務に従事。 慶應義塾大学医学部、及び米国ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院卒。

#### 榊原 和洋

ANRI株式会社 アソシエイト



東京大学理学部卒。同大学院で生物化学分野にてRNAサイレンシングに関する研究を行い、博士号取得。エムスリー株式会社で製薬企業に対するコンサル営業、CVC部門におけるバイオベンチャーに対するミドルレイター投資に従事した後、2022年ANRIに参画。

#### 水本 尚宏

東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 パートナー(AOIファンドCIO)



大和SMBCキャピタルにてIT・医療などハイテク分野へのベンチャー投資を経験後、昭和シェル石油に転職。タスクフォースリーダーとして決済プロジェクト、新電力プロジェクト、店舗のデジタルトランスフォーメーションなど、新サービス企画から市場導入まで主導。2017年1月より東大IPCにて再度ベンチャー投資業務を担当しつつ、1stRoundを創設。その後、AOIファンドを立ち上げた。

Day2: 12:30-13:40

マーケットプレイスを世界に広げることは、ベンチャーの非連続な成長を目指す上で特に重要な要素ですが、国ごとに異なる制度や慣習から、海外進出の推進には課題が多く存在します。本セッションでは、海外展開に取り組む医療系ベンチャーを交え、海外進出の動向やリアルな課題、それを突破していくための心構えについて議論します。

#### 松永 昌之

BIOSPIRE株式会社 代表取締役 / Oxentia シニアコンサルタント



英国にてPhD取得後、日本において内資・外資系企業のマネジメントを経験。2014年よりCambridge大学発再生医療系スタートアップ 「DefiniGEN」にて、ビジネスデベロップメントとオペレーションを実施し、スタートアップの苦楽を肌で知る。その後Oxford大学由来のイノベーションコンサル「Oxentia」にて、日本戦略リードの立場から、日本のスタートアップの更なるグローバル化を推進する事業を立案・遂行する。 MEDISO・LINK-Jサポーター。英Oxford在住。

#### 鍵本 忠尚

株式会社ヘリオス 代表執行役社長CEO



九州大学病院にて医師として勤務の後2005年、1社目の大学発バイオベンチャー、アキュメン株式会社を起業。提携先との共同開発を通じて、大学の研究者のみで発明したシーズとしては始めて FDA新薬承認を得て、デファクトスタンダードとなる。2011年2月、再生医療の実用化を目指し株式会社へリオスを設立し、2015年6月、東証マザーズ上場。難治性疾患に苦しむ患者さんへ治癒と希望を届ける、という初心の実現に向け、再生・細胞医薬品という新たな産業創生に取り組む。

#### 海外進出に挑むベンチャーのリアル(後半)

Day2: 13:40-14:10

#### 松永 昌之

BIOSPIRE株式会社 代表取締役 / Oxentia シニアコンサルタント

#### 鍵本 忠尚

株式会社ヘリオス 代表執行役社長CEO

#### 越阪部 正徳

ノーベルファーマ株式会社 研究開発本部 副本部長 海外開発部長



東大薬学系研究科修士課程修了後、三菱化成工業薬理研究所(現田辺三菱製薬)入社。抗血小板剤の薬理担当後本社臨床開発部で抗トロンビン剤脳血栓症急性期他担当。その後開発企画部でICH担当後、海外開発部門に異動しグローバルプロジェクトリーダー、欧州での申請・承認、部長、現地米国子会社社長。帰国後開発企画、アジア臨床部門長等経てから早期退職し2014年から現職。

#### 羽藤 晋

株式会社セルージョン 代表取締役社長



1998年慶應義塾大学医学部卒。2013年慶應義塾大学医学部博士課程卒(外科系眼科学)。眼科専門医。再生医療認定医。眼科医として臨床および研究に携わる。角膜研究分野の実績多数。慶大特任講師も務める。

略歴

1998年 慶應義塾大学医学部卒業

2002年慶應義塾大学医学部助手(眼科学)2008年慶應義塾大学医学部助教(眼科学)2013年慶應義塾大学医学部特任講師(眼科学)2015年株式会社セルージョン 代表取締役

現在に至る

#### 佐藤 亨

ソニア・セラピューティクス株式会社 代表取締役社長 兼 CEO



小野薬品に1998年入社。国内営業を務めた後、2006年に韓国ソウル支店長を務めた。帰国後、事業戦略本部海外戦略室にてオプジーボの海外展開のため韓国・台湾法人を設立し、自ら代表として経営に従事した。帰国後、オンコリスバイオファーマで事業企画部長、同社出資先のペンシルベニア大発のLiquid Biotech USAのBoard Memberを歴任。2019年に共同創業者の岡本と吉澤と出会い、2020年2月にソニア・セラピューティクスを設立し、代表として経営に従事している。

医療機器プログラムはベンチャー・スタートアップから大企業に至るまで参入・開拓が続き、近年特に注目を集めています。本セッションでは、医療機器プログラムの領域をリードするベンチャーや専門家を迎え、関連する法規制への理解を深めるため、国内外の動向や押さえるべきポイントについて議論します。

#### 曽山 明彦

一般社団法人 Life science Innovation Network Japan 常務理事 / 東北大学 特任教授



東京大学理学部物理学科卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。人事院長期在外研究員として米国コロンビア大学ビジネススクールに留学 (MBA)。(株)ボストンコンサルティンググループのプロジェクトマネージャー、トランス・コスモス(株)の専務取締役を経て、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)ヴァイスプレジデント、欧米系医療機器企業2社の日本法人社長を経験。2016年4月LINK-J事務局長に就任。東北大学特任教授(2020年~)

#### 西川 玄希

厚生労働省 医薬・生活衛生局 医療機器審査管理課 プログラム医療機器審査管理室 主査



平成28年厚生労働省入省後、安全対策課、内閣府食品安全委員会、医政局研究開発振興課、労働基準局化学物質対策課等にて業務に従事。その後、令和4年8月より医療機器審査管理課プログラム医療機器審査管理室に着任し、医療機器のサイバーセキュリティに携わっている。

#### 佐竹 晃太

株式会社CureApp 最高経営責任者(CEO) / 日本赤十字社医療センター 呼吸器内科医



慶應義塾大学医学部卒業後、日本赤十字社医療センター等で臨床業務に従事。中国上海CEIBSへ留学後、経営学修士号 (MBA) 修了。その後、米国ジョンズ・ホプキンス大学公衆衛生大学院にて公衆衛生学修士号 (MPH) 修了。2014年7月にCureAppを創業。現在も診療の現場に立つ他、日本遠隔医療学会理事 / デジタル療法分科会長・日本禁煙学会評議員なども務める。

#### 根本 鮎子

ゾンデルホフ&アインゼル法律特許事務所 パートナー



2022年~現在 株式会社Faber Company社外監査役 2020年~現在 株式会社CureApp社外監査役 2017年~現在 ゲンデルホフ&アインゼル法律特許事務所 2013年~2014年 K&L Gates シアトルオフィス 2011年~2017年 K&L Gates 外国法共同事業法律事務所 2007年~2011年 クリフォードチャンス法律事務所 2013年 ジョージタウン大学ローセンター修了 2006年 東京大学法学部卒業

#### 小島 清顕

Smith, Gambrell & Russell, LLP パートナー弁護士



幼少期から米国在住。JD取得後、2003年からホームタウンジョージア州アトランタ市を拠点に米国各地で弁護士業務を営む。SGR法律事務所 (全米・世界13ヶ所にオフィスを有する、創業約130年の米国総合法律事務所)のパートナー弁護士として在籍、Japan Practiceを立ち上げる。 幅広い法務に対応可能。その他所属:JETRO中小企業海外展開現地支援プラットフォーム法務コーディネーター、経済産業省InnoHubアドバイザー、厚生労働省MEDISOサポーター等を兼任。

#### 猪子 晶代

Smith, Gambrell & Russell, LLP 弁護士



東京外国語大学外国語学部卒、慶應義塾大学ロースクール修了。日本の弁護士資格(66期)を取得後、エモリー大学ロースクールのLL.M.を経て、現在はSGR法律事務所(全米・世界13ヶ所にオフィスを有する、創業約130年の米国総合法律事務所)において、法人設立・維持、契約書のレビュー・交渉、M&A、雇用、環境法・ヘルスケア分野を始めとしたコンプライアンス、訴訟・紛争、ビザ等あらゆる案件で日本語によるサポートを提供している。

医師・医療従事者や研究者による起業は、近年注目を集めています。本セッションでは、パネリストとして医師起業家の方々を迎え、シーズから起業、チーミング、ビジネス化のための課題を取り上げ、それらを乗り越えるためのコツ・勘所を、実体験を交えて議論します。

#### 奥田 浩美

株式会社ウィズグループ 代表取締役 / 一般社団法人 ヘルス・アンド・ウェルビーイング・アライアンス 代表理事



ムンバイ大学(在学時:インド国立ボンベイ大学)大学院社会福祉課程修了。1991年にIT特化のカンファレンス事業を起業。2001年に株式会社ウィズグループを設立。2013年には過疎地に株式会社たからのやまを創業し、地域の社会課題に対しITで何が出来るかを検証する事業を開始。委員:経済産業省 Jスタートアップ推薦委員、「医療系ベンチャー振興推進会議」委員等、著書:ワクワクすることだけ、やればいい!(PHP 出版)ほか

橘 正敏

BPMコンサルティングオフィス代表 / 常勤サポーター



精密機器企業の医療機器部門にて、25年以上、マーケティング(国内、海外の市場調査、販路開拓)、商品企画、法規制対応、品質システム構築など、製品ライフサイクルにわたる一連の業務に従事、社内、社外を含めた数多くのプロジェクトを管轄した経験を持つ。医療系ベンチャー・トータルサポート事業のサポーターとして、プログラム医療機器等を開発するデジタル系スタートアップへの助言・支援経験を豊富に持つ。

佐藤 洋一

iSurgery株式会社 代表取締役 / CEO



2014年三重大学医学部卒業。整形外科・リハビリテーション科専門医。名古屋大学整形外科関連病院での勤務の傍ら、2019年より人工知能 (AI)に関する研究開発を開始。NPO NORH AI研究部門での研究責任者を経て、2020年 iSurgery株式会社 創業、代表取締役。名古屋大学大学院医学系研究科 客員研究員。

川田 裕美

株式会社ヘッジホッグ・メドテック CEO



医師、医学博士、産業医。

2014年に厚生労働省入省。2017年にメドレーに参画し、オンライン診療に関して、Government Relations、アカデミアとの連携を推進。2020年からソフトバンクにて、DTx領域の投資検討及び海外企業とのJV設立を担当。

2021年ヘッジホッグ・メドテックを起業。

#### 髙橋 秀徳

DeepEyeVision株式会社 代表取締役CEO



自治医科大学 眼科 准教授、医学博士

東京大学医学部卒業。日本眼科学会 AI, ビッグデータ, 遠隔医療 戦略会議 委員

東京大学眼科と自治医科大学眼科で眼底の失明性疾患の研究に従事。

2015年に深層学習が人の画像識別能力を超えたことを知り、深層学習の研究を開始し、2016年にDeepEyeVision合同会社起業。現在、同社代表取締役CEO。

#### 井汲 一尋

株式会社MEDICOLAB 代表取締役



1986年 群馬県高崎市生まれ

2009年 North Carolina大学 Chapel Hill校

2010年 名古屋大学医学部医学科卒

2018年 株式会社MEDICOLAB 代表

2022年10月「ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット(JHVS)」内で開催された、JHVS SHOWCASE(ピッチイベント)受賞者による5分ピッチを実施します。医療系ベンチャーの各分野をリードする受賞者の、事業内容・強み・今後の展望を紹介します。

#### 羽藤 晋

株式会社セルージョン 代表取締役社長



1998年慶應義塾大学医学部卒。2013年慶應義塾大学医学部博士課程卒(外科系眼科学)。眼科専門医。再生医療認定医。眼科医として臨床および研究に携わる。角膜研究分野の実績多数。慶大特任講師も務める。

略歴

1998年 慶應義塾大学医学部卒業

2002年 慶應義塾大学医学部助手(眼科学)2008年 慶應義塾大学医学部助教(眼科学)2013年 慶應義塾大学医学部特任講師(眼科学)

2015年 株式会社セルージョン 代表取締役

現在に至る

#### 谷口 雅浩

KAICO株式会社 研究開発・生産 ゼネラルマネージャー



熊本大学大学院薬学教育部博士課程修了。博士(薬学)、薬剤師。吉田製薬(株)にて製剤研究やメディカルアフェアーズ業務に従事。その後、治療の前段階である予防・診断領域に興味を持ち、富士フイルム(株)にて臨床現場即時検査(POCT)システムの商品企画など経験し、2020年よりKAICO(株)。現在、ゼネラルマネージャー/技術部門責任者として、ワクチン、診断薬、研究用試薬等の開発を進めている。

内山 朝子

セレイドセラピューティクス株式会社 Chief Development Officer(CDO)/製品開発部部長



アリゾナ大学で学士/博士号を取得後、SUNY Upstate Medical University、Cornell Universityでの研究職を経て、日本の非臨床GLP施設にて細胞・遺伝子治療薬の安全性評価法の確立や、試験受託チームのマネジメントを担当。また経鼻投与ワクチン・ウイルスベクターワクチン開発から海外事業開発まで幅広く携わる。現職では血液疾患の患者さんに新たな治療法を届けたいという願いのもと、造血幹細胞を用いた細胞治療製品の開発に取り組む。

野口 太朗

Heartseed株式会社 経営企画室 / 事業開発担当



京都大学大学院薬学研究科博士課程修了後、製薬企業にてメディカルアフェアーズ部、探索研究部を経験し、アトピー性皮膚炎・痒みに関するコンセンサス論文、探索研究等に従事。その後、創薬バイオベンチャーにて中分子創薬の研究企画・推進を担当。新規パイプライン立案と製薬企業等との新規共同研究の締結を実施。2022年よりHeartseed株式会社に参画。iPS細胞治療、及びその関連技術等のライセンス活動に取り組む。

佐藤 亨

ソニア・セラピューティクス株式会社 代表取締役社長 兼 CEO



小野薬品に1998年入社。国内営業を務めた後、2006年に韓国ソウル支店長を務めた。帰国後、事業戦略本部海外戦略室にてオプジーボの海外展開のため韓国・台湾法人を設立し、自ら代表として経営に従事した。帰国後、オンコリスバイオファーマで事業企画部長、同社出資先のペンシルベニア大発のLiquid Biotech USAのBoard Memberを歴任。2019年に共同創業者の岡本と吉澤と出会い、2020年2月にソニア・セラピューティクスを設立し、代表として経営に従事している。

細田 莞爾

PRD Therapeutics株式会社 代表取締役社長



北里大学大学院薬学研究科修了後、北里大学薬学部特任助教として天然物からの創薬研究に従事。所属研究室で発見された有望な創薬シーズの実用化を目指し、NEDO主催のNEDO TCP2019に参加し優秀賞を受賞。 東京都が支援するアクセラレータプログラムBlockbuster TOKYO 2019への参加を経て2021年9月にPRD Therapeutics株式会社を設立。

丸山 健一

五稜化薬株式会社 代表取締役



徳島大学にて博士号(工学)取得後、慶應義塾大学理工学部の助教に就任。退職後、慶應義塾大学大学院経営管理科(MBA)。卒業後、日本テクノロジーベンチャーパートナーズ(株)にマネージャーとして参画。ヘルスケア・バイオのスタートアップ6社の投資担当としてハンズオン。その後、2010年7月に札幌にて五稜化薬(株)を創業。

## クロージング

#### 本荘 修二

本荘事務所 代表 / 多摩大学 客員教授 / 医療系ベンチャー振興推進会議 座長



新事業を中心に、日米アジアの大企業・ベンチャー・投資家等のアドバイザーを務める。500 Global、Endeavor、始動 Next Innovator 他のメンターとして起業家育成、コミュニティづくりに取り組む。多摩大学MBA客員教授。BCG東京、米Computer Sciences Corporation、CSKセガグループ会長付、投資育成会社GeneralAtlantic日本代表などを経て、現在に至る。ペンシルベニア大学経営学修士、早稲田大学博士学術: 国際経営

#### 奥田 浩美

株式会社ウィズグループ 代表取締役 / 一般社団法人 ヘルス・アンド・ウェルビーイング・アライアンス 代表理事



ムンバイ大学(在学時:インド国立ボンベイ大学)大学院社会福祉課程修了。1991年にIT特化のカンファレンス事業を起業。2001年に株式会社ウィズグループを設立。2013年には過疎地に株式会社たからのやまを創業し、地域の社会課題に対しITで何が出来るかを検証する事業を開始。委員:経済産業省 Jスタートアップ推薦委員、「医療系ベンチャー振興推進会議」委員等、著書:ワクワクすることだけ、やればいい! (PHP 出版)ほか

#### 曽山 明彦

一般社団法人 Life science Innovation Network Japan 常務理事 / 東北大学 特任教授



東京大学理学部物理学科卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。人事院長期在外研究員として米国コロンビア大学ビジネススクールに留学 (MBA)。(株) ボストンコンサルティンググループのプロジェクトマネージャー、トランス・コスモス(株) の専務取締役を経て、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) ヴァイスプレジデント、欧米系医療機器企業2社の日本法人社長を経験。2016年4月LINK-J事務局長に就任。東北大学特任教授 (2020年~)

#### 厚生労働省

